

## 会 議 録

### 1 会議名

令和 7 年度第 2 回柿崎区地域協議会

### 2 議題(公開・非公開の別)

#### (1) 報告事項 (公開)

- ・ 令和 7 年度における柿崎区新保育園整備事業の概要について
- ・ 柿崎区小学校の統合に関する取組方針及び今後の予定について

#### (2) 自主的な審議 (公開)

- ・ 柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について
- ・ 頸北地区地域協議会委員合同研修会について

#### (3) その他 (公開)

### 3 開催日時

令和 7 年 5 月 20 日 (火) 午後 6 時 30 分から午後 7 時 53 分まで

### 4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3 階 305～307 会議室

### 5 傍聴人の数

2 人

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者 (傍聴人を除く) 氏名 (敬称略)

- ・ 委 員：吉井会長、中村副会長、石田委員、金子委員、小出委員、小関委員  
小山 (慶) 委員、坂木委員、佐藤 (達) 委員、佐藤 (昌) 委員  
佐藤 (ま) 委員、滝澤委員、蓑輪委員、山川委員
- ・ 幼児保育課：黒津課長、徳永副課長、松井係長
- ・ 教育総務課：笹川参事、小池参事、三輪係長
- ・ 事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長、片岡次長、  
荻谷産業グループ長、横尾建設グループ長、

石川市民生活・福祉グループ長、岩片教育・文化グループ長  
長井地域振興班長、熊木副主幹

## 8 発言の内容（要旨）

### 【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

### 【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に山川委員を指名。
- ・次第4の報告事項に入る。(1)令和7年度における柿崎区新保育園整備事業の概要について幼児保育課から報告をお願いする。

### 【幼児保育課 黒津課長】

- ・毎年、幼児保育課では新年度になると公立保育園34園をすべて回り、園児の様子や保育士の仕事の様子を確認している。柿崎区の柿崎第一、第二、上下浜、下黒川保育園も先日訪問した。今、こども家庭庁では、「子ども主体の保育」ということで、例えば、子どもたちの興味や関心を大切にして自分たちで主体的に成長できるような保育をサポートするという取組がある。柿崎区のどの園もそれぞれの特色を生かして保育士が試行錯誤する中で主体的な保育を進めている様子が見られた。また、この先の統合を見据えて交流保育も進めている。現在、市では柿崎区のほかに、もう2つの枠組みで新保育園の建設事業を進めている。それぞれの状況を話すと和田、大和、三郷の3保育園の統合整備では、今年度建設候補地である大和小学校の周辺に約5,000平方メートルの民有地の取得に向けて、地域との最終的な合意形成に向けて調整しているところである。そして、もう1つ、戸野目、上雲寺、高士、諏訪の4保育園の整備では、雄志中学校の南側市有地の建設候補地において、本年度、測量調査等を実施する予定である。そのような中、柿崎区の新保育園の整備が先行している状況にある

が、これらについては、地域の皆さんの熱心な思いと協力のおかげである。心から感謝申し上げる。引き続き子どもたちの目線に立ち保護者や地域の皆さん、保育士の意見を丁寧に聞きながら長く愛される保育園の建設に取り組んでまいりたい。この後、担当から今年度の事業概要について説明させていただく。

【幼児保育課 松井係長】

- ・本日配布した資料 1「柿崎区新保育園整備事業の概要」に従い説明する。これから資料に従って説明するが、今後の予定や施設の配置については、今年度実施する設計業務の結果をもって固まってくる情報になる。現時点での情報であることを理解いただいた上で以降の説明を聞いていただきたい。

(資料 1 により説明)

【吉井会長】

- ・ただ今の説明に対し質問、指摘等があったら、挙手の上発言をお願いします。

【小山委員】

- ・4 点ほど聞く。グランドデザインを今年度中に行うと説明があったが、区民からいつ頃にグランドデザインが完成するのかと聞かれている。グランドデザインができると何も変えられないのか、私たちの意見は通らないのかという話をいただいている。グランドデザインができた後に懇談会等が行われるという話があったと思うが、今年度のいつ頃になるのか。また、多くの人から国道近くของ場所に建設されるので、危険の排除はどこまで進んでいるのか。それから桃園の公民館がこういった形になるのか。最後に小中学校のスクールバスの件、乗り場の件も聞きたい。以上 4 点についてお願いします。

【吉井会長】

- ・今の質問 4 点について回答をお願いします。

【幼児保育課 徳永副課長】

- ・まず、1 点目のグランドデザインの件であるが、今日お示しした施設配置のイメージ案をご覧いただいたところだが、何をもってグランドデザインというか、いろいろ定義があると思う。今回お示ししたイメージ図もグランドデザインの一つと捉えていただければと考えている。詳細な保育園の外観のパース図とか、内装がどうなるか、より具体的なものというのは、今年度以降に実施する園舎の設計業務においてしっかりと詳細を詰めていきたい。今ほど松井係長からも

説明があったが、今年度、実施する設計業務の実施に当たっては保護者、地域の皆さんからの意見も十分に踏まえて進めて行きたい。ランドデザインの策定の段階から、しっかりと皆さんのご意見は、取り入れられるものは取り入れ、共有できるものは共有して進めて行きたい。ただし、それら話合いの開始時期については、現時点で設計の発注に至っていないので、具体的な日程については、まだお示しできない状況である。国道の危険箇所については、前々年度来、柿崎体育館周辺を建設候補地とした時点から様々なご指摘、ご意見をいただいた中で関係者と幾度となく協議や現場確認をさせていただいた。これまでの回答と変わらない部分もあるが、警察機関、国等の道路関係者としてしっかりとどういった安全対策を取れるのか、難しい所はどんな代替案があるのかについては設計業務の進捗に合わせて継続して検討をしていきたい。

【松崎次長】

- ・桃園町内会館の建設について説明する。資料の色のついていない部分が現時点で想定している保育園の位置関係になるが、その左側の色のついていない部分が残っている状態になるので、こちらの方で桃園町内会の皆さんが現在相談して、どの部分に設置するかということを検討してもらっている。これには下水道や上水道など建物として利用するには接続する必要もあり、どの位置が一番有利なのか、資金繰りはどうするのかと市の補助金、コミュニティ事業の補助金などを利用するのであれば、市も支援させていただきながら進めている状況である。

【岩片教育文化グループ長】

- ・スクールバスの駐車場所が現在と変わるかというご質問だと思う。次長が話したとおり、色のついていない部分については、これからフリーの状態の中で町内会の方々も含めて利用の方法について検討して行くが、基本的に今使っている部分がスクールバスの駐車場、回転場として継続して行く方向で検討を進めている。結果的に設計等が出来上がった中で、より利用しやすい形に協議して行くことになるが、現状は今と変わらずこの場所を使っていくことで考えている。

【小山委員】

- ・アンケート調査等は私たちも行ったが、市でも行ったと思う。そこで出た意見

をなるべく多く拾っていただければと思う。

【吉井会長】

- ・確認だが、グランドデザイン、設計が終わった段階でもう 1 回保護者なり、区民の皆さんに説明会を実施していただくということで良いか。

【黒津課長】

- ・今、プロポーザルという言葉が出てきているが、建築設計をする事業者を決めるのにプロポーザル方式というものを取る。例えば設計がしっかりと決まってしまった段階では、意見を聞いても戻れないということもあるかと思う。プロポーザルの中でもしっかりと地域の皆さんの声を取り入れながら、一緒に考えながらやって行くという形で、まず事業者を選定するところから入るので、設計事業者が決まったら一緒にどういう設計をしていくか意見を聞きながら、例えば私たちが皆さんの意見を聞いて、それを事業者に伝えるというやり取り、またはプロポーザルで事業者を選定する中に地域の皆さんや保護者の声が届くような形で事業者選定するというのも一つかと思う。そのような形で進めて行きたい。すべてが決まった段階で意見を求めるという形にはならないように注意していきたい。

【吉井会長】

- ・そうすると、今年度中ということか。説明会なり皆さんの意見を聞いたりするのは。

【黒津課長】

- ・今年度の前半すぐということではないが、これからプロポーザルの事業者を選定する委員会を立ち上げて、そこから動いていくので具体的に言うと今年度の途中から来年度にかけてということになると思う。皆さんに意見を聞き始めるのは今年度中ということでご理解いただきたい。

【吉井会長】

- ・では、小山委員の質問はこれで終わりにする。ほかに質問あるか。

【小出委員】

- ・プロポーザルの段階から意見を取り入れられるようなことも考えられるという話だったと思う。プロポーザルをするというのは、A 社、B 社、C 社あったとして A 社は森がいっぱい保育園、B 社は文化に集中した保育園というような案

が出て来て、その方針を選ぶ段階でどんな保育園が良いかみたいなどころから入れる可能性もあるということか。それとも、会社が既に決まった段階なのか。プロポーザルそのものに区民の意見を入れて行くということも考えているとすれば、時間もかかったりすると思う。取り入れるというのは素晴らしいと思う。ぜひやっていただきたいと思うが、何か具体的な形が見えてこないところがある。そこを説明いただきたい。

【黒津課長】

- ・プロポーザルで決めるのは設計をする事業者になる。まだ、決定ではないがプロポーザルの選定委員の中に地域の声が届く委員に入っていただくということも対応の一つとして考えられる。皆さんが今、懸念しているどういう保育園にして行くかというのは次の段階になるかと思う。事業者が決まった後、設計を進める段階で新しい保育園のコンセプトにしていくか、どのような機能を持つとか意見を聞きながら反映して行く。これは建設候補地を決める時もそうだったが、地域の皆さんの声を聞きながら建設候補地を最終的に決めて行った時と同じような形になると思う。ただ具体的にどのような形で意見を聞くかというのは、今後、皆さんに別の機会で説明させていただけたら良いと思っている。

【吉井会長】

- ・どういうふうに参加するというのは、今言えないと思う。引き続き、機会を捉えて、きめ細かな説明をお願いする。

【小関委員】

- ・桃園町内会のことなので、私がとやかく言うことがないが、今小山委員の話の中に桃園の町内会館が出たので、新しい町内会館を作る場合、市の補助金は 750 万円が上限ですよ。その辺は桃園町内会から要望等があったのか。

【松崎次長】

- ・資金関係の要望については、補助金を利用したいという話はある。市の補助金は確かに 750 万円が上限だが、コミュニティ助成事業というのがあり上限が 1,500 万円だったが、最近もう少し上がったようである。そうしたものも希望してすぐ採用されないという所もあるが、2 年～3 年を置いた中で希望して行けばいずれは当たるという見込みがある。そういったものも利用できるという

ことで、その他借り入れも含めて相談を受けているので私どももご支援しながらやって行きたい。

【吉井会長】

- ・ほかに委員の皆さんから質問ないか。
- (質問なし)
- ・それでは、これで保育園の整備事業についての説明、質疑は終了する。
  - ・次に柿崎区小学校の統合に関する取組方針及び今後の予定について教育総務課に説明をお願いする。

【笹川参事】

- ・柿崎区小学校の統合に関する取組状況についての報告に参った。この間柿崎区の児童の皆さんの学びの環境がいかにあるべきか、様々な関係の皆さんから丁寧な話し合いを重ねていただいた。本日、この間の取組状況の経過の確認も含め1点目として今後の取組の方針、2点目として流動的ではあるが今後の予定ということで説明させていただく。詳細は担当の参事からさせていただく。

【小池参事】

- ・今日は、柿崎区小学校の統合に関するこれまでの経緯と今後の取組予定について改めて説明する。
- (資料6により説明)

【吉井会長】

- ・質問、指摘等あったら挙手の上、お願いする。

【小関委員】

- ・今の説明の中で、今後の主な予定の6～7月のところに「柿崎区全世帯におたより配布」と書いてあるが、どのような内容か。このように決まったということの報告なのか。経過の中には地域が了解したような話がちらほら見えるが、どのような内容の文書なのか。

【小池参事】

- ・今年度に入ってから全世帯におたよりを配布させていただいた。それは今回の資料とほぼ同じような内容である。資料に載せた配布予定のおたよりの内容は、諮問の結果このようになったという報告の予定である。

【吉井会長】

- ・要するに、この資料6に地域協議会への諮問・答申が盛り込まれた形のものが配布されるということか。

【小池参事】

- ・今後の予定と諮問・答申でこのような答えをもらったということである。

【吉井会長】

- ・私もそういうことなのかと予想している。小関委員いかがか。

【小関委員】

- ・この諮問で決まったことを配布するということか。

【吉井会長】

- ・小関委員、諮問は市長の名前で「統合するが良いか。」というのが出てくる。それを地域協議会で受けて答申する訳であるので、それで我々が良かったら、良いと、諮問の内容に異議があるなら、異議があるということを答申するということになる。小関委員、よろしいか。

【小関委員】

- ・諮問に対する地域協議会の答えの内容を配布するということか。

【小池参事】

- ・メインはそこになるが、今後このような予定で進むということも、賛成であるといいただいた場合は、具体的にもう少し統合実行委員会をいつ頃開きたいとか、交流活動をどのくらいから始めたいということをお示し出来たら良いと考えている。

【小関委員】

- ・今の回答を聞くと、これから市長がどういう形で地域協議会に諮問するかは、まだわからないのか。

【小池参事】

- ・ここにある上下浜小学校及び下黒川小学校を柿崎小学校に編入統合しても良いか伺おうかと思っている。

【小関委員】

- ・諮問はいつになるのか。

【吉井会長】

- ・それは地域協議会の本会議の時に出てくる。諮問が出るので我々がそれを協議

して答申するのは翌月以降である。今までの例では、諮問が出て来て翌月に答申している。

【小関委員】

- ・諮問があった場合、いろいろな意見があると思う。その辺が諮問に対する答申を含めて柿崎区全世帯におたより配布するということになると思うが、この資料はいろいろな捉え方ができると思う。

【笹川参事】

- ・6月から7月に諮問させていただき、良いという形で答申をいただけた際には、おたよりを結果の報告という形で区民の皆さんに伝える必要があるだろうという趣旨である。小関委員ご指摘のとおり答申が良いということがあくまで前提であるということの記載がなかったので、その点お詫びする。

【吉井会長】

- ・小関委員、良いか。それでは、ほかに質問、意見等あったら挙手をお願いします。  
(質問、意見なし)
- ・統合は柿崎小学区に統合するという事で、校舎もそれを使うということで進んでいると思う。先ほど保育園の方は令和10年、こちらは令和9年ということで1年早い。そうすると先ほどのスクールバスの問題や校舎の修繕の問題であるとか1年足らずでやらなくてはいけないということになると思うので、非常にスケジュールがタイトであると思う。その辺はどのように進める考えか。

【笹川参事】

- ・会長指摘のとおり、まさに今、そこの精査を同時並行で進めている。通常だと丁寧に皆さんの話し合いのもとに合意形成がなされて、それから大体2年かかるというのがこれまでの通例である。ここはあくまでも目標ということでアンケートの中でも学びの環境を重視する保護者が多いということを重視し、できればこのタイミングまでに間に合わせられないかということで目標を掲げた。具体的に校舎の工事を同時並行でやるとなると音が出たり授業に支障が生じかねない部分があり、夏休みだけで終わる工事でもないという懸念材料を今、整理把握しながら物理的に間に合うのかというところは、皆さんから了解いただいてないが技術的な側面は現在同時に整理の検討を加えているところである。

【吉井会長】

- ・先ほどの保育園では、設計してからという話もあったが、校舎の改修という面でも業者を決めて、どれをどういうふうにして、どれくらいの予算がかかるという形で相当煮詰めないといけない問題が多いと思う。本当に1年足らずでできるのか。目標はわかるが、実際本当にできるのかという懸念をしているので、その辺をもう少し詰めてからもう1回こちらに、本当なら諮問の前にしていただきたい。

【笹川参事】

- ・諮問にあたって答申の検討の際の前提として、その辺の一定の目処が立たないことにはという会長の指摘である。その辺の見通し、精査の状況を一度説明の機会を持ちたい。そうすると最速7月の諮問になるかと思う。

【吉井会長】

- ・委員の皆さん、よろしいか。

【小関委員】

- ・今後の予定に柿崎町内会長連絡協議会に説明したのか。

【吉井会長】

- ・29日に行われる。

【小関委員】

- ・そこで、町内会長連絡協議会が了解するとか、反対するとかがあると思う。その内容について、行政ではどのように考えているか。

【笹川参事】

- ・説明内容としては、同じ資料で同じレベルの説明をする。本日の指摘を含めて報告させていただく。

【吉井会長】

- ・小関委員、よろしいか。では、諮問が出てくると思うが、それに対する答申は非常に難しいものになると予想される。その辺も踏まえた諮問をお願いする。それでは、教育総務課からの説明を終了する。
- ・次に自主的な審議に移る。柿崎区地域協議会各委員会の取組状況について、最初にネットワーク委員会の佐藤委員長から説明をお願いする。

【佐藤（達）委員】

- ・ネットワーク柿崎の活動状況について報告する。

(資料 2 により説明)

【吉井会長】

- ・委員長から説明があった。ほかの委員から追加事項あるか。

(追加事項なし)

- ・質疑等あったらお願いします。

(質疑なし)

- ・それでは、ネットワーク委員会の報告を終了する。次にスポ×まちプロジェクトの報告を佐藤（昌）委員長にお願いします。

【佐藤（昌）委員】

- ・4月30日に意見交換を行うスポーツ団体との日程調整について委員3人出席し協議した内容を報告する。

(資料 3 により説明)

【吉井会長】

- ・委員長から説明があった。委員から追加報告あったらお願いします。

(追加報告なし)

- ・私からの質問だが、議事録で意見交換を行うスポーツ団体の検討が第1候補と第2候補があるが、第1候補の3団体については、5月28日に来てもらえそうだが、第2候補の3団体はどういう状況か。

【佐藤（昌）委員】

- ・第2候補の3団体については、第1候補の人たちがなかなか忙しいので、補助候補という位置づけである。今回の意見交換会でかなりの意見が出れば第2候補は必要ないと考えている。追加が必要であれば、追加でさせていただければと、欠けがあった場合の補充と考えている。1回で終われば良いと考えている。

【吉井会長】

- ・私の希望だが、なるべく多くのチームから意見を聞いた方が良いと思うので、第1候補だけでなく第2候補もできればお願いしたい。これが一つ、次のページに「まちづくりチーム候補」というのが7月と11月に出てくる。まちづくりチーム候補とはどういうものか。

【佐藤（昌）委員】

- ・私が地域協議会委員になる前に上越市主催でまちづくりの担当者向けのファシリテーションなどの研修会に参加した。新発田市で事務局が一手に引き受けるのではなくて、市内の企画が上手な会社、資金繰りが上手な人が集まって一つのイベントを実施しているという研修を受けた。それに必要なのが全体構成をするプロデューサー、人の割り振りをするコーディネーター、会議を回すファシリテーターという役割がまちづくりをうまく回す要素であると説明を受けた。新発田市で実績があるので、同じような要素を持っている人が上越市内にもいるだろうと、柿崎区にいる、いないは関係なしにこういう方々もどういう形であれば柿崎区のイベントに関われるのかとか。今、こういう活動をしているが、こういう不便なものを、こういうのがあってうまく活動ができていないとか、そういうことを聞ければ今後のいろいろな形に協力してもらえるのではないかと探した上で意見交換会をしようと思う。

【吉井会長】

- ・質問はないか。  
(質問なし)
- ・では、それで進めていただきたい。令和9年度に成果発表となっているが1年前倒しで願います。それでは、スポ×まちプロジェクトの報告を終わる。次に米山薬師を守る会の報告を佐藤（ま）委員に願います。

【佐藤（ま）委員】

- ・米山薬師を守る会の会議録ではなく、私が柿崎山岳会の活動に参加した記録と感想だと思って聞いてほしい。4月20日と5月8日の2日間参加した。4月20日は登山道整備と観音起こしを行った。次の山頂トイレ組立作業では人数的にも半数以上が柿崎山岳会の人で占めていた。実動についても柿崎山岳会の皆さんが身を粉にして指示を出したり、自分たちが動いたりしてくれていた。特に手洗い場と掃除用の水の配管を柿崎山岳会の人が一人でやっていて、来年度からは自分が手放さなければいけないということで事細かく写真記録は取っているが、誰がこれをやるのだろうと思った時、本当に誰がそれを引き継ぐのかと感じた。倒木等の撤去も下りながら行った。課題等については、私の個人的な考えである。来年も教えを請うのであれば、それ相応の報酬を必要として、

来年度以降も手伝ってくれると言っているが、相応の報酬を用意して講師として招くという形が良いと思う。2つの行事があるが、市からの委託業務とはいえ、その前、その後、本当に毎日のように個人的に登って山道整備やいろいろなことをやってくれている。そのような活動を今後誰がやるのかとか誰が指示を出すのか、とても難しいと思った。先日、山頂の標柱を夫婦で登って、ペンキを2人で全部塗り替えられて、とてもきれいな標柱に、山開きの前にみんなでその下で写真を撮られるようにと、ご夫婦で登られたというようなこともある。誰々が個人的に雪の下になっていた枝を切ってくれたとか、毎日のように気が付いた人がやってくれている。少しずつ引き継ぎながら2、3年かけて考えて行けば良いのかと思う。

#### 【吉井会長】

- ・佐藤（ま）委員から4月20日と5月8日の2つの作業の感想を報告してもらった。私は5月8日の山頂トイレの組立の手伝いに行った。柿崎山岳会が14人、この内2人がチェーンソーをリックサックに入れて登った。途中、道を塞いでいる倒木が結構あるが、上りはやらないで、下りにチェーンソーで切ってほかのメンバーで登山道から除いた。あの作業を見ていて、怪我をした時の対応はどうなるのかと心配であった。山頂のトイレの組立は業者がやってくれるが、山岳会の方がむしろ詳しい。また、配管工事も山岳会がいないとできない。山岳会が手を引くと誰もできないと感じた。今回、山岳会が解散するということで地域協議会が最初の課題として取り上げ、今我々が取り組んでいるが、これをどうしていくかということは、行政と本格的に対応しないとやりきれない。柏崎の方は、今年大平口が閉鎖されている。それで大平口のところに大駐車場を作って大型バスをそこに駐車させて観光客を大平に呼び込むという計画を立てて今年は閉鎖している。それに対して上越市側は柿崎山岳会が解散するのにバタバタしているという状況である。本当に上越市のシンボルたる米山をどういうふうにするかというのは、やはり我々からまず柿崎区民に発信してどれだけ米山が大事なのか、どれだけ歴史があるのかということをアピールしながら、上越市にどういうふうにしてこれを維持管理、観光も含めてアピールして行くのかは大きな課題だと思う。皆さんからいろいろ意見をもらいながら進めて行きたい。行政側の協力ももらいながら大きな課題を解決しなければいけな

い。

- ・それでは次に、頸北地区地域協議会委員合同研修会について進む。資料5の当日の役割分担、研修会の司会進行、情報交換会の司会進行について、当日参加できる委員9人から決めたい。研修会の司会進行は私が予め佐藤（ま）委員にお願いし、了解をもらった。受付をやってくる委員はいないか。蓑輪委員、山川委員いかがか。

（蓑輪委員、山川委員了承）

- ・地域自治推進プロジェクトの5つのテーマの内、「地域自治区の区域」については柿崎区地域協議会委員から手が上がっていない。あとの4つについてグループに分かれて討議を行う。第1部の研修、第2部の情報交換会の日程については資料5のとおりである。地域政策課との意見交換の司会進行は私が行う。情報交換会の司会進行は中村副会長が行う。この件について意見、質問はないか。

（意見、質問なし）

- ・研修会についての報告を終了する。それでは、次の柿崎区地域協議会は6月の17日（火）で、その前の6月14日に頸北地区地域協議会委員合同研修会がある。
- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

【中村副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。

（午後7時53分閉会）

## 9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL：025-536-6701（直通）

E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。